

令和7年度 ワンロック地域連携推進協議会 議事録

事業所名	共同生活援助事業所 ワンロック
所在地	徳島市
開催日時	令和7年9月30日(火) 13:00~14:20
開催場所	共同生活援助事業所ワンロック 2階
出席者 (計8名)	利用者:前川 裕次 様 利用者のご家族:江村 世志恵 様 地域住民の方:徳島市川内町久木町内会 前町内会長 梅村 節男 様 福祉に知見を有する方:相談支援事業所ピオス 相談支援専門員 佐坂 有香 様 経営に知見を有する方:社会福祉法人仁栄会 理事長 箕浦 正将 様 徳島市障害福祉課:係長 山下 洋平 様(欠席) ワンロック職員:管理者 中山 多美子 サービス管理責任者 緒方 達哉 生活支援員 岡田 千紘
議題内容・挨拶	開会挨拶 構成員の紹介 日常の様子等の紹介 ・事業内容 ・施設概要 ・食事 ・余暇活動 施設案内
事業内容	●徳島県手をつなぐ育成会の理念 ・地域に密着した福祉の拠点として「自分らしく」の理念を象徴とし、その人その人の立場に立って「笑顔」・「信頼」・「幸せ」を想像し、適切なサービスを提供する。 ●ワンロック運営方針 ・利用者の「住み慣れた地域で生涯に渡って暮らしたい」という要望を実現。 ・家族や地域との交流を深めることで「自分らしい暮らし」が築けるよう支援する。 ●利用状況 ・男性15名、女性4名の現員19名が利用(9月末現在) ・平均年齢36.8歳 ・平均区分3.1

	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・平日：日中は仕事に出かけ、夕方はそれぞれゆっくり過ごしている。 ・休日：それぞれが自由な時間を過ごす。職員同伴での買い物や散髪、余暇活動に参加する場合もある。移動支援を利用する人もいる。 ●職員について <ul style="list-style-type: none"> ・日中は世話人や生活支援員、看護師、夜間は夜間支援員がおり、24 時間職員が在中する形態をとっている。 ●質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人はどこに買い物に行くことが多いか。 <ul style="list-style-type: none"> →徒歩や自転車で行ける範囲にスーパーがいくつかあり、利用をしている方が多い。 ・利用者の金銭管理はどうしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> →希望者の小遣い等の管理をしている。小遣いを渡すタイミングは個別に検討をしている。小遣いを渡した際などは必ず利用者に必ずサインをいただき、残額は数人でチェックをしている。
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ●ワンロックについて <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年 10 月 1 日開所。 ・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの 3 つのユニットからなる。 ●利用者の生活の場について <ul style="list-style-type: none"> ・居室は個室となり、備え付けのベランダとベランダがある。 ・リビングは共有、キッチンでは主に世話人が調理し、休日の昼食時は利用者がポットや電子レンジを使用する。 ・トイレ、浴室はバリアフリー設計、洗面所と洗濯室は交代で使用。 ●ワンロックⅣについて <ul style="list-style-type: none"> ・アパートタイプ 2 階建て、居室は風呂トイレ付。1 階の一室を共有スペースとして使用し、キッチンで世話人が調理し、利用者が食事をする形にしている。 ●利用料について <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット参照してもらおう。 家賃 35,000 円、食材費 18,000 円となっている。 ●質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンロックⅣはワンロックの近くにあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> →同じ町内で、車で 5 分ほど離れた距離にある。 ・共有の場所があるが、コロナ等の感染症対策はどうしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> →感染者とその他の利用者で使用できる区画を分けることを徹底している。特にトイレがバリアフリー設計で蓋がないため、使用できる人をドアに

	<p>掲示しておき、こまめに消毒するなどして、感染拡大防止を徹底している。</p>
食事	<ul style="list-style-type: none"> ●食事について <ul style="list-style-type: none"> ・朝食と夕食を世話人が調理し、提供している。 ●特別メニューについて <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日メニュー：誕生日の利用者の希望を反映したメニューを提供。 ・イベントメニュー：クリスマスや正月等に季節感を感じられるメニューを提供。 ●質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・食費は1日何円なのか。 <ul style="list-style-type: none"> →朝食と夕食で1日約600円程度である。 ・食費の管理はどのようにしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> →世話人に管理をお願いしている。スーパー等で買い物をした際の領収書は保管し、残額も常に数人でチェックするよう体制を整えている。
余暇活動	<ul style="list-style-type: none"> ●行事について <ul style="list-style-type: none"> ・一例としていくつかの行事を紹介する。 ・納涼祭 <ul style="list-style-type: none"> →ピンゴゲーム大会、ヨーヨー釣り、スーパーボール掬いを企画。 ・初詣 <ul style="list-style-type: none"> →今年は徒歩で北島町の水神社へ向かう。 ●ピラティス教室について <ul style="list-style-type: none"> ・運動不足解消のため、月に1回程度開催。 ●防災訓練について <ul style="list-style-type: none"> ・年に数回開催し、日ごろの防災意識を高めている。 ・地震時の避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> →ヘルメットと防災リュックを着用し、避難場所となっている四国大学へ徒歩で向かう。 ・火災時の避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> →水消火器を使用し、消火訓練を行う。 ・実際の災害時について <ul style="list-style-type: none"> →昨年秋に大規模停電が起こった際、利用者は一か所に固まって集まることできたが、オール電化のためトイレが使えなく困ったという事例を紹介。 その後対策として昨年度中は浴槽に水を溜めておくようにつとめたこと、今年度はウォータータンクを購入し常に水を確保していることを説明。 ●地域清掃について <ul style="list-style-type: none"> ・久木地区の一員として地域清掃(除草作業等)を毎年行っている。 今後も活動が続け、他に地域の役に立つことがあれば取り組んでいきたい。

	<p>●質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(利用者の前川様に向けて)ワンロックでは楽しく過ごせているか。 →楽しく生活していると笑顔で返答。 ・避難訓練時に使用しているリュックやヘルメットはどこで管理しているのか。 →各居室に置いており、利用者本人が管理をしている。 中身については、職員が定期的に見直しをしている。 ・停電の際、施設内の電気は全く点かないのか。 →廊下の非常灯が点灯する。また居室の防災リュック内に懐中電灯があるため、居室内では使用した。
施設見学	<p>利用者居室、トイレ、浴室、洗濯室、洗面所、リビングを実際に見ていただく。</p> <p>●質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具家電は居室に備え付けられているのか。 →備え付けは洋服棚のみ。家具家電は利用者本人が好きなものを持ち込む形にしている。 ・利用者は食事をリビングで食べているのか。 →コロナ禍から感染対策のため、食事は居室で行っている。ただし、食事は利用者が取りに行ってお飯をついたり、下膳時に血圧測定をしたりするなど、リビングの利用はしている。 ・利用者の服薬管理はどうしているのか。 →薬自体を管理している利用者はいるが、服薬の際には必ずリビングに来てもらい、生活支援員や夜間支援員、世話人等が2人態勢でチェックするようにし、誤薬防止につとめている。
利用者からの感想、意見	<ul style="list-style-type: none"> ・会議が始まるまですごく緊張していたが、優しく声かけや質問をしてくれたので、落ち着いて話をすることができた。 ・地域の人に自分の部屋を見てもらう機会は今まで無かったので嬉しかった。部屋のことを色々聞いてくれたことも嬉しかった。
〈推進委員より〉 全体の感想や意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングにてハロウィンの飾り付けがされており、食事以外にも利用者さんが季節を感じる工夫がされていた。 ・防災グッズの管理を利用者本人が行い、それを実際身に着けて訓練をしているのが良いと思った。個人で防災グッズを準備しておくことはなかなか難しいため、意識づけしておくことは大切である。 ・施設北側に広い土地があるので、地域の人に駐車場等として貸す等活用してみてもどうか。 ・トイレの蓋が無いことで感染対策に苦労があることや、停電時にオール電化でトイレが使用できなかった話があったので、部屋に置くことができるラップポンのような簡易トイレ導入を検討してはどうか。

今後の課題等

- ・職員の確保、特に世話人の確保が難しい。求人を出しても、希望者がなかなか現れない。
- ・食費については、物価高で苦勞している面がある。今後費用については検討が必要になってくる。
- ・土地の運用や、感染対策、災害時の対策について等、貴重な意見を聞くことができた。今後の運営に活用していきたい。

当日の写真

